

令和7年度熊本県学力・学習状況調査について ～結果報告と今後の取組について～

昨年12月に実施されました「熊本県学力・学習状況調査」について、調査結果を踏まえた今後の指導方針についてお知らせいたします。

本調査は、熊本県内の児童生徒の学力の定着状況や学習習慣を把握し、指導の改善や学習環境の充実に役立てることを目的としています。今年度の中学1・2年生は、学力調査(国語・数学・英語)と生活・学習状況アンケート(質問調査:i-check)のすべてがCBT(Computer Based Testing)方式で行われました。タブレット端末上で問題を読み、動画資料を視聴して答えたり、キーボードで考えを入力したりと、デジタルスキルを活用して臨みました。

本結果を分析し、学習の傾向や課題を明確にすることで、より効果的な指導の工夫につなげてまいります。引き続き、生徒たちの学びを支えるために、しっかりと取り組んでいきたいと考えております。今後とも、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

なお、個別の結果につきましては、配付されている生徒一人一人のIDとパスワードより閲覧できます。ご家庭でも学習の振り返りや、今後の学習に向けた話合いの機会としてご活用ください。

本校における学力調査の結果(各学年教科の結果概要)

【中学1年】

- 国語の結果(総合)は、全国平均を下回っているが、県平均をやや上回っている。
- 数学の結果(総合)は、全国平均を下回り、県平均をやや下回っている。
- 英語の結果(総合)は、全国平均を下回っているが、県平均を上回っている。

【中学2年】

- 国語の結果(総合)は、全国平均を下回っているが、県平均をやや上回っている。
- 数学の結果(総合)は、全国平均を下回っているが、県平均をやや上回っている。
- 英語の結果(総合)は、全国平均を下回っているが、県平均を上回っている。
- 同一集団経年比較をした場合、1年時より国・数・英ともに正答率がやや下回っている。

本校における i-check 調査の結果(各学年の結果概要)

【中学1年】

- 「生活習慣」「友だちの支え」「学級の絆」の項目が高かった。
 - ・前日のうちに準備物の確認を行うこと。
 - ・お互いを認め合うとともに、行事等に学級で団結して取り組み、その達成感を感じていること。等の取組の成果であると考えています。
- 「発信力」「規範意識」「成功体験と自信」の項目に課題が見られる。
 - ・学校生活の中で発言をするとき、他の人と同じ意見だった場合でも、自分なりに考えて発言すること。
 - ・近所の人へ自分から挨拶をすることや公共の場所や乗り物等で人に迷惑をかけないように気をつけること。等の取組や生活についての質問で数値が低く、意識した取組が必要であると考えています。



【中学2年】

- 「生活習慣」「学習習慣」「学習意欲」の項目が高かった。
 - ・Myプロジェクトを意識した生活を送ることができていること。
 - ・授業の予習復習を行うことや自分で計画を立てて勉強していること、ノートの取り方を工夫していること。等の取組の成果であると考えています。
- 「学級の絆」「家の人、友だち、先生の支え」については課題が見られる。
 - ・クラス一人ひとりのいいところを、言葉にして言うことができること。
 - ・あなたはかけがえのない存在であることや自分なりに頑張ったことを認めてもらえて嬉しかったこと。等の取組や生活についての質問で数値が低く、意識した取組が必要であると考えています。

課題の改善に向けて

引き続き

基礎・基本の確実な定着が図れる授業を行っていきます。

そのために

学校での学習に集中し、効果的に学ぶためのルールや習慣(学習規律)を徹底していきます。

特に、西南中では**聴く態度の育成**に力を入れていきます

※各教科の学習の中では

- 授業の中で基礎的・基本的事項の定着を確認する場面を設けます。
- 教科書等を用いた予習(家庭学習)の徹底を行っていきます。今後ともよろしくお願いいたします。

学校HPには二次元コードを
クリックでアクセス→



『主体性と協働性を育み、夢の実現に挑戦する生徒の育成』
『「凡事徹底」そして「自己」への挑戦・他への貢献』

西合志南中学校
学校通信
令和8年2月26日
第11号
発行責任者
大山 寛
アクト さくら

※熊本県の詳しい結果については、県のホームページに掲載されます(3月公表予定)

